

NICE SMILE

2012
冬
VOL.53

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター ● 院外・院内広報

発行・責任者：広報誌編集委員会委員長 永井 義幸 / 〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地の23 TEL072-469-3111(代) FAX072-469-7929
http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/



9階 レストランにて

本年4月に理事長に就任しました八木原です。よろしくお願ひします。

市立泉佐野病院は昭和27年に6科、71床で開院し、増改築を重ねたあと、平成9年、関西国際空港開港時に開設された大阪府立泉州救命救急センターの建物に隣接して、りんくう総合医療センター・市立泉佐野病院として新築移転されました。以来、災害拠点病院、特定感染症指定病院、救急告示病院としての役割を担う一方、心臓センター、脳神経センター、国際外来などを設置、平成20年、市立貝塚病院と泉州広域母子センターを開設、平成21年には大阪府がん診療拠点病院の指定を受け、平成23年には地域医療支援病院に認定されるなどの沿革を経ながら、当院はこの地域の中核病院として高度先進医療を実践し、良質な地域医療の提供に尽力してまいりました。

一方、医療費高騰に対して医療費削減政策が施されてから10年余り、多くの民間病院が不採算部門から撤退し、その不採算部門を担う自治体病院の経営状態が特に悪化する状況が進み、国は改革ガイドラインを提示、平成20年、自治体に公立病院改革プランの策定を促しました。この流れの中で平成23年4月、当院は地方独立行政法人化し、「りんくう総合医療センター」と名称変更しています。

また、初期研修制度などの医療制度改革の中で進行した医師の偏在化に対して、国は平成21年に「地域医療再生計画」のための基金を創設しました。泉州地方は、大阪府内でも北部や大阪市内と比べて医師が少なく、公立病院への依存度が高く、近年における勤務医数の減少が大きい特徴があります。この傾向は特に南部地域で著明

であることから、府の指導で泉州南部地域を対象にこの基金が活用され、平成23年以降、泉佐野、貝塚、阪南各市民病院を中心とした情報連携、救急医療体制強化、研修共同プログラムの策定などの作業が推進されています。その中で、より質の良い効率的な救急医療の提供を目指して、当院と府立救命救急センターとの統合が進められています。

平成23年、当院ではICUを8床から10床に増床、電子カルテを導入、院内保育所を開設、救命救急センターの支援のもとに救急科の増設などを行いました。そして、救命救急センターにおいてもICUを8床から16床に増床、りんくう総合医療センター内に12床のSCU仕様病棟を開設する改良工事が行われ、また、320列の最新鋭CTを導入し、両施設におけるハード面での統合準備が行われました。さらに平成24年4月から、脳血管・循環器疾患を中心とした救急搬送患者受け入れ窓口一本化など、両施設が協同診療する運営を開始、ソフト面での統合化準備作業が現在も着々と進行しています。

このように、当院は平成25年4月から様々な先進的な専門医療に高度な3次救急診療をも担う、さらに高機能な388床の病院として新しく生まれ変わろうとしています。また、看護職員不足などの課題がありますが、より理想的な地域医療の実践と未来の医療人を育成する基幹病院の構築に向け、職員が一丸となった改革を行っているところ です。

今後とも、皆様のご理解とご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

りんくう総合医療センターが
生まれ変わります

理事長 八木原 俊克

CONTENTS

表紙写真：「理事長」..... 1	電子カルテを導入しました..... 3
理事長 八木原 俊克「理事長着任の言葉」	入退院サポートセンター立ち上げについて
坂口 俊文「透析は暗黒・腎移植はバラ色ではありません」..... 2	外来フロアのレイアウト変更
金澤 元宜「整形外科は平成24年4月より体制が一新しました」	フロアマナーの活動について
	海の日コンサート・クリスマスコンサートについて..... 4
	イベント・行事などのご案内 / 編集後記 / 人権標語

診療体制の紹介
〜新任部長からのメッセージ〜

「透析は暗黒・腎移植はバラ色」ではありません

腎臓内科部長 坂口 俊文

本年4月より、新たに腎臓内科チームとして、当院に着任しました。今回は、血液透析について正しい認識を持っていただくために、透析の現状について書きたいと思います。

腎不全が進行した患者さんに血液透析の必要性を説明させていただくと、たいていの方が、「あんな恐ろしいものを受けたくない」とか、「透析なんかするぐらいなら死んだ方がましや」とかおっしゃいます。しかし、腎臓の機能が廃絶してしまえば、透析を始めなければならなくなつた時に、入院を拒否して御自宅に留まっておられても、症状が強くなり、苦しくてたまらなくなると救急車でやって来て、やっぱり透析をしてほしいとおっしゃいます。そして、数週後に血液透析で体が楽になると、「こんなんだつたら、初めからしておけばよかった」とおっしゃるのです。

透析に対するマイナスイメージは、マスコミによって流される誤った情報によるものです。マスコミによってつくられた一般的な透析のイメージは、①透析を受けるのはとてもしんどい、②腎移植は素晴らしいが透析は悲惨、という内容です。海外での臓器売買による腎移植が問題になったとき、「苦しい透析を逃れるために、海外での移植を希望する患者が後をたない」とこの報道がありました。報道番組ですから、透析の事を知らないと透析はとても苦しいものだと思ひ込むでしょう。しかし、実際には元氣な方なら仕事の後、御自分の車で透析施設にやって来て透析を受け、透析中はベッドサイドに備え付けのテレビで放送番組やDVDを見て、透析後はまた御自分の車で帰られます。そんなにしんどかつたらこんな事できません。マスコミの情報を聞いてみると、移植はあたたかも自分の腎臓が戻ってくるのかの様に扱われていますが、自分の腎臓が返ってくるのと同じではありません。これは患者さん自身も騙されている事が多く、腎移植を受け



腎臓内科および血液浄化センタースタッフ

ても拒絶反応でひどい目にあつた患者さんたちは手術前にちゃんと説明してもらえなかつたとおっしゃいます。移植の医師や透析の医師は自分の腎臓が返ってくるのではなく、拒絶反応で苦しむ事、また怖い感染症や、癌になる可能性が高くなる事、免疫抑制薬を服用せねばならない事などをきちんと説明しているはずですが、マスコミに洗脳されてしまった患者さんは、移植の良い面ばかりを聞いてしまいがちです。ドラマならともかく、報道番組で誤つた印象を植え付けられてしまうとそれを拭い去るのは難しいことです。しかし、以上述べましたように、血液透析はそんなにしんどいものではなく、腎移植は一般的なイメージほどにはバラ色ではありません。当院の透析チームは主に導入期を担っており、またシャントの閉塞などのトラブルにも積極的に対応しております。維持期の透析は主に近隣の医療機関にお任せしており、病状が安定した段階で患者さんご同様に、近隣の透析施設にご紹介しております。

整形外科は平成24年4月より体制が一新しました

整形外科部長 金澤 元宣

りんくう総合医療センター整形外科は、平成24年4月より診療体制が一新されました。新たに大阪大学整形外科股関節診療グループより2名の人工関節専門医が赴任し、脊椎センターおよび人工関節センターを開設し、脊椎、関節疾患に対して手術治療を中心とした診療をおこなっております。人工関節センターでは、膝関節、股関節疾患に対してより専門的な治療を開始しています。特筆すべき点は、4月より先進医療としてナビゲーションシステムによるコンピューター支援手術を導入し、従来手術と比較してより正確な人工関節手術が可能となりました。

脊椎センターでは、脊椎、脊髄の様々な疾患に対応できるよう心がけております。また、地域医療ネットワークを通じて、手術の必要でない患者様には、地域のクリニックや診療所の先生方に治療していただくように連携を密にしています。今後とも、泉州地区の基幹病院としての役割を果たすべく精進していきたいと考えております。



整形外科スタッフ

整形外科は外来完全予約制を導入します

平成25年1月より、整形外科外来に完全予約制を導入いたします。

当院の整形外科受診を希望される場合は、かかりつけ医やお近くの医療機関から地域医療連携室を経由したご予約の取得を行ってください。

詳細は当院ホームページをご参照ください。

URL: <http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/>

リウマチセンターを立ち上げました

膠原病内科部長の入交医師と整形外科医師とでリウマチセンターを開設し、リウマチ疾患に対して内科と整形外科が協力して診療を行っていく体制を整えております。

電子カルテシステムを導入しました

医療マネジメント課長 廣道 敦

当院では昨年10月より、医療のサービスと質的向上と、より安全な医療の提供を目指し、電子カルテシステムを導入しました。

◎さまざまなメリット

電子カルテシステムにより、患者さまの診療に関するさまざまな情報が一元化されます。病院内のスタッフがいつでも医療情報を共有でき、患者さまの最新の情報が容易に把握できるようになりました。そのことで、情報共有・伝達が迅速になり診療や検査などが円滑になりました。入院患者さまには入院から退院までを計画したクリティカルパスなどを電子カルテ上で使用することにより医療の標準化と医療の質の保障にも繋がります。

◎再来受付機をご利用ください(前回来院より半年以内の患者さま)

1か月に1度の保険証の確認を全て中央カウンターで実施し、患者さまをお待たせする原因となっていました。昨年10月より保険証の確認を各ブロックで行っています。初診以外の患者さまは、2階エスカレータ横の再来受付機で受付を済ませ、直接、各診療科・検査科へお進みください。保険確認は各ブロック受付で行います。

◎自動支払機を導入しました(分散計算方式導入で会計待ち時間が著しく短縮しました！)

今まで中央窓口で全ての患者様の診療費の計算と徴収をしており、そのため待ち時間が発生し、ご迷惑をおかけしていました。今回、電子カルテシステム導入に伴い、各ブロックで分散して医療費の計算を行い、2階の自動支払機で診療費を徴収する運用に変更しました。その結果、患者さまの名前の呼び出しがなくなり、待ち時間が殆どなくなりました。操作方は患者さまが診察券を挿入することにより画面の表示と音声の案内に従ってお支払いすることができます。操作方法等ご不明な点は近くに係員を配置していますのでお気軽にお尋ねください。

入退院サポートセンターを 立ち上げました!



入退院サポートセンターのスタッフ

入退院サポートセンターってどんなところ?

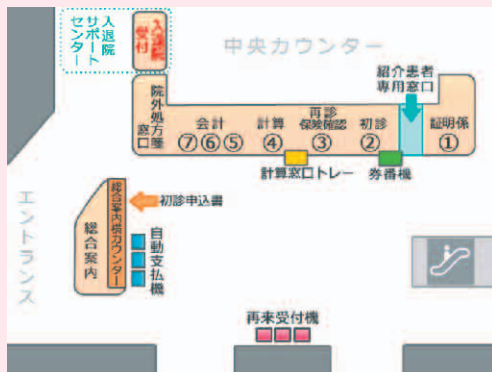
当院では、本年4月より、2階フロアに入退院サポートセンターを新たに設置しました。入院、退院および入院中に存在するさまざまな問題点を解決すべく、ワンストップで総合的に患者様へ多面的にアプローチを行ないます。患者様の不安要素を取り除き、安心して入院治療および退院後の生活を過ごしていただくことに主眼を置いております。入退院サポートセンターでは、看護師・薬剤師・事務職などさまざまな職種のスタッフが入院時から関わることで、サービスの向上に努めます。

具体的にどんな業務をするの?

- 入院のお申し込み時に、受付担当者が入院に関するわかりやすい説明・オリエンテーションを行ないます
- 入院日に看護師が対面式で問診を行ないます
- 入院日に薬剤師が持参薬や入院中の服薬管理について説明を行ないます
- その他、入院に関わるさまざまなご相談に対応いたします

入退院受付の場所が移動しました。(詳細は下図をご参照ください。)

【2階受付案内図】 2階フロアのレイアウトが変更されています



フロアマネージャーを配置しております

当院では、患者様をはじめ来院された方々が快適な時間を過ごしていただけるように、フロアマネージャーを配置しております。主に、2階・3階のロビーを巡回し、来院された方々へのサービス向上に努めております。目的の場所が分からない時の案内や、初めて来院された患者様への手続きの説明など、外来受診についてのさまざまな問い合わせに対応しております。お気軽にお声をかけてください。

海の日コンサートを実施しました

相談支援室 南 孝美



2012.07.16

7月16日、当院で活動している乳がん患者会『すみれ会歌い隊』による海の日コンサートが2階外来エントランスホールで開催されました。入院患者様、外来患者様、市民の方々約220名の参加があり、出演者、職員、お手伝いの方を含め300名近い人数で、冷房を強にしても暑く感じる盛況なコンサートでした。

歌もよく知られている演目で、一緒に歌ったり聞いたりで楽しい一時となりました。歌はご参加の皆様にご温かく力づけられるプレゼントとして胸に届いたと思います。歌以外に、コンサートの前後の時間を利用して企業ブースで闘病に必要な支援グッズを見る場の提供や、専門家によるリンパ浮腫相談も企画されていました。市長・理事長・特別顧問・病院長をはじめ、病院スタッフのたくさんの支援ですばらしいコンサートが開催できました。

患者会の活動の支援に携わりながら楽しい時を共有できる幸せを感謝しています。川上先生、すみれ会歌い隊、ミナトレゾの皆さん本当に有難うございました。

今年度の講座・イベント等のご案内

市民健康講座

会場：りんくう総合医療センター 3階 大会議室
日時：毎月（8月・12月除く）第3土曜日開催
2013年1月19日（土）14:00～
2013年2月16日（土）14:00～

生活習慣病予防教室

会場：りんくう総合医療センター 3階 大会議室
日時：毎月（8月・12月除く）第2木曜日開催
2012年12月13日（木）13:00～
2013年2月14日（木）13:00～
2013年3月14日（木）13:00～

第14回

りんくうクリスマスコンサート

～“音の散歩道” ヴァイオリン コントラバス ピアノと共に～

日時：平成24年12月8日（土）
午後2時～

場所：りんくう総合医療センター
2階エントランスホール

【出演者】

- ① 長岡 紫さん -ピアノ-
- ② 赤松 美幸さん -コントラバス-
- ③ 久保 由佳子さん -ヴァイオリン、企画、司会進行-

今年、当院のICU病棟 川島 孝太看護師長がフルート演奏で特別参加します。

りんくう総合医療センター 看護師募集



あなたにしかできない看護を！

お問い合わせ先

りんくう総合医療センター 総務課総務係
TEL：072-469-3111(代表)

編集後記

ナイススマイル53号をお届けします。私が泉佐野に勤務して、約20年が過ぎました。名前は同じ「りんくう総合医療センター」であっても、勤務する職員の資質・意識などにより全く違う病院になります。

われわれ職員は気持ちをひとつにして南泉州になくてはならない病院でありたい、みなさま方に利用していただきやすい、本当に困ったときに頼りにされる病院でありたいと願ってそのため努力してまいりたいと思います。

来年2013年の4月にはりんくう総合医療センターと隣接する泉州救命救急センターがひとつの病院として再スタートを切ります。これを大きなチャンスとして更なる飛躍をめざしてまいります。

編集委員長（副病院長）永井 義幸

人権標語 「人権はみんなが持つものを守るもの」



りんくう
総合医療センター
MOBILE SITE

